

公益財団法人偕行社初年度事業計画書

(平成23年2月1日～平成23年3月31日)

1. 方針

公益財団法人偕行社は、平成22年度の既存の計画に基づき22年度末までの事業を整齊と実施するとともに、公益財団法人として実質的初年度となる平成23年度の準備に万全を期することを目的とする。

2. 主要考慮事項：前年度の計画を踏襲する。

- (1) キャッチコピー「英霊に敬意を。日本に誇りを。」の普及に努める。
- (2) 偕行社事業に対する賛同者の増加を図る。
- (3) 新会計基準に基づく事業区分ごとの健全な財務管理を行う。
- (4) 元幹部自衛官の入会を促進し、各地偕行会と協力し継承基盤確立に努める。

3. 主要実施事業

(1) 公益目的事業

ア 慰霊・援護事業

(ア) 引き続き靖國神社、千鳥ヶ淵戦没者墓苑、自衛隊殉職者慰霊碑に対する月例参拝を実施する。

(イ) 平成23年度に行う「市ヶ谷台慰霊祭」の実施要領についてさらに充実した内容となるよう検討する。

イ 安全保障シンポジウムの実施

2月22日、東洋学園大学において偕行社主催第2回「安全保障シンポジウム」を実施する。「テーマ」は、「新防衛計画大綱への評価」という身近な関心の高いものとし、パネリストには元陸・海・空自衛官の防衛問題専門家のほか、部外の評論家の先生も加わり、活発な討論を実施するよう計画している。近い将来偕行社としての政策提言に繋がるものとしたい。

ウ 近現代史シンポジウムの実施

3月5日、明治大学駿河台キャンパスにおいて偕行社主催第2回「近現代史シンポジウム」を実施する。「テーマ」は、満洲事変80周年に因み「今、満洲を考える」とし、近代日本の歴史に重大な影響を及ぼした「満洲」について先入観を排して歴史研究の立場から真実を追究し、昭和前期史のより正確な把握を行うものである。偕行社側からは、パネルディスカッションの司会者1名が加わるのみで、基調講演者、パネリスト3名、コーディネーターは、いずれも部外の有名な研究者であり、幅広い内容の充実した成果を期待している。

(2) 会館の運営

引き続き利用者の増大、売上の拡大に努力する。

- (3) 軍歌集「雄叫」に自衛隊関係隊歌を加え再出版し、販売する。

4. 業務管理体制の充実

- (1) 公益財団法人移行に伴う、届け出・各種書類等の変更・整備を努めて早期に完了する。

(2) 会計年度の移行に伴う漏れのない適切な財務処理に留意する。

5. 主要会議等

(1) 理事会	臨時理事会	2月10日(木)
	臨時理事会	2月24日(木)
	理事会	3月10日(木)
(2) 評議員会	臨時評議員会	3月3日(木)
	臨時評議員会	3月19日(土)
(3) 業務連絡会議	(理事会終了後)	2月10日(木)
	(理事会終了後)	3月10日(木)
(4) 各委員会	年度計画の通り	